

2018年8月26~27日

世論調査（共同、読売、日経）⇒詳報、紙面などは続報、
沖縄、憲法、防衛計画の大綱、総裁選、米朝・南北

改憲案、秋提出に反対多数 自民総裁選は首相先行
共同通信 2018/8/26 19:04

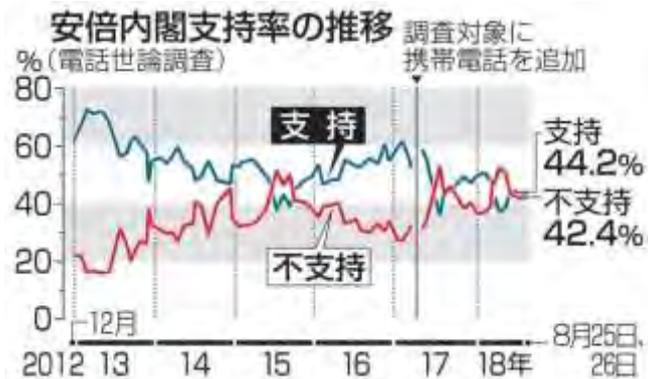
世論調査の主な結果		
		今回 前回
内閣支持率	支持	44.2% (43.4%)
	不支持	42.4% (41.8%)
次期 自民党総裁に ふさわしい候補	安倍晋三	36.3% —
	石破 茂	31.3% —
	野田聖子	4.9% —
	この中には いない	22.7% —
次期国会に自民 改憲案の提出を 目指すとの首相 の意向	賛 成	36.7% —
	反 対	49.0% —
米軍普天間飛 行場の辺野古 移設の政府方針	支持する	40.3% —
	支持しない	44.3% —
サマータイム 導入	賛 成	30.8% —
	反 対	61.6% —

※()内は7月21、22両日実施の調査結果。
合計は100%にならない。敬称略

世論調査の主な結果

共同通信社が 25、26 両日に実施した全国電話世論調査によると、秋の臨時国会に自民党改憲案を提出したいとする安倍晋三首相の意向に「反対」との回答は49.0%で、「賛成」の36.7%を上回った。9月の自民党総裁選で、誰が次期総裁になるのがふさわしいか問うと安倍首相が 36.3%で、31.3%の石破茂元幹事長に先行した。野田聖子総務相は4.9%だった。自民党支持層に限ると首相支持は60.2%。24.0%の石破氏、3.0%の野田氏に大差をつけた。

新総裁に期待する政策を二つまで聞いたところ、景気や雇用など経済政策が38.6%で最多だった。



安倍内閣支持率の推移

共同通信世論調査 改憲案、秋提出 「反対」が49%

毎日新聞 2018年8月27日 00時23分(最終更新 8月27日 00時35分)

共同通信社が25、26の両日に実施した全国電話世論調査によると、秋の臨時国会に自民党改憲案を提出したいとする安倍晋三首相の意向に「反対」との回答は49.0%で、「賛成」の36.7%を上回った。9月の自民党総裁選で、誰が次期総裁になるのがふさわしいか問うと安倍首相が36.3%で、31.3%の石破茂元幹事長に先行した。野田聖子総務相は4.9%だった。自民党支持層に限ると首相支持は60.2%。24.0%の石破氏、3.0%の野田氏に大差をつけた。

内閣支持率は44.2%。7月21、22両日の前回調査から0.8ポイント増でほぼ横ばい。不支持は42...

産経新聞 2018.8.26 21:11 更新

自民党総裁選、安倍晋三首相が先行 共同通信世論調査

共同通信社が25、26両日に実施した全国電話世論調査によると、安倍晋三首相が秋の臨時国会に自民党改憲案の提出を目指す意向を示したことについて「反対」との回答は49.0%で、「賛成」の36.7%を上回った。9月の自民党総裁選で、誰が次期総裁にふさわしいか聞くと、安倍首相が36.3%で、31.3%の石破茂元幹事長に先行した。野田聖子総務相は4.9%だった。

内閣支持率は44.2%。7月21、22両日の前回調査から0.8ポイント増のほぼ横ばいだった。不支持は42.4%。

安倍内閣支持上昇、50%に...読売世論調査

読売新聞 2018年08月26日 22時04分

読売新聞社が24~26日に実施した全国世論調査で、安倍内閣の支持率は50%となり、前回調査（7月21~22日）の45%から上昇した。不支持率は40%（前回45%）。

政党支持率は、自民党が40%（前回41%）、立憲民主党が4%（同8%）などの順。無党派層は45%（同41%）だった。

次の総裁、首相42%・石破氏36%...読売調査

読売新聞 2018年08月26日 22時04分

読売新聞社は24~26日、全国世論調査を実施した。9月の自民党総裁選に立候補を表明、または意欲を示している安倍首相、石破茂・元幹事長、野田総務相の3人の中で次の総裁にふさわしい人を聞くと、安倍氏42%、石破氏36%、野田氏10%の順だった。自民支持層に限ると、安倍氏が72%で、石破氏が21%、野田氏が4%となった。

サマータイム「反対」50%...読売世論調査

読売新聞 2018年08月26日 22時04分

読売新聞社が24～26日に実施した全国世論調査で、夏に時計の針を進めるサマータイム（夏時間）の導入に反対は50%で、賛成の40%を上回った。

自民総裁選、安倍氏 39%・石破氏 31% 本社世論調査 内閣支持率は48%

2018/8/27 0:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社とテレビ東京による24～26日の世論調査で、9月の自民党総裁選で誰が総裁にふさわしいか聞いたところ、安倍晋三首相と答えた人は39%だった。石破茂元幹事長は31%、野田聖子総務相は4%で、首相が先行する。ただ憲法改正案の今秋の臨時国会への提出には「急ぐべきではない」が7割で、首相が描く改憲シナリオへの理解は浸透していない。

安倍内閣の支持率は48%で、7月下旬の前回調査の45%から3…

総裁選支持 安倍氏 39%、石破氏 31% 本社世論調査

2018/8/26 18:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社とテレビ東京による24～26日の世論調査で、9月の自民党総裁選で誰が総裁にふさわしいか聞いたところ、安倍晋三首相と答えた人は39%だった。石破茂元幹事長と答えた人は31%、野田聖子総務相は4%だった。自民党支持層では安倍氏が65%、石破氏が21%だった。

次の自民党総裁に期待する政策では「社会保障の充実」が46%でトップ。「景気回復」(40%)、「外交・安全保障」(33%)が続いた…

携帯料金「高い」65% サマータイム「反対」55%

2018/8/27 0:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、日本の現在の携帯電話の利用料金が「高いと思う」は65%で「安いと思う」の1%を大幅に上回った。「妥当だと思う」は24%だった。

年代別に見ると、18～29歳では「高い」が50%、「妥当だ」が48%で拮抗した。30代は「高い」が65%に上り「妥当だ」の30%の2倍を超えた。40代では「高い」が78%で「妥当だ」は21%にとどまった。50代では「高い」が81%と、年代別で…

厚労省分割「賛成」42% 「いけない・わからない」も多く

2018/8/27 0:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、厚生労働省を分割する案について「賛成だ」と答えた人は42%で「反対だ」の24%を上回った。「どちらともいえない」は10%、「いけない・わからない」は24%だった。自民党の行政改革推進本部(甘利明本部長)が近く、安倍晋三首相に分割を念頭に置いた

提言を提出する予定だ。政府は提言を受けて検討を本…

後援会、玉城氏出馬へ団結＝沖縄知事選

9月30日投開票の沖縄県知事選をめぐり、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する「オール沖縄」勢力から出馬要請を受けた自由党の玉城デニー幹事長（衆院沖縄3区）は26日、沖縄県沖縄市で後援会会合を開いた。出席者からは「一致団結して知事選に臨んでほしい」との声が上がった。玉城氏は同党の小沢一郎代表と協議した上で、29日にも出馬表明する方向で調整を進める。（時事通信 2018/08/26-15:12）

玉城氏、27日以降に出馬表明 沖縄知事選、上京し調整へ 共同通信 2018/8/26 19:21



後援会の会合を終え、記者団の取材に応じる玉城デニー氏＝26日午後、沖縄県沖縄市

9月30日投開票の沖縄県知事選への出馬の意向を固めている自由党衆院議員の玉城デニー氏（58）＝沖縄3区＝は、27日以降の週内に出馬を正式表明する方向で調整を急いでいる。関係者が26日までに明らかにした。玉城氏は26日、同県沖縄市で開かれた後援会の会合後、記者団に「詰めることを詰めて発表したい」と述べた。

玉城氏は、知事選で主要な争点となる見込みの米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に反対の立場。当初は26日の表明も検討されたが、野党各党の協力を得るために調整の時間が必要だと判断したとみられる。27、28日に東京で自由党の小沢一郎共同代表らと会う予定。

沖縄県知事選 玉城デニー氏、詰めの調整 出馬表明先送り

毎日新聞 2018年08月26日 20時07分(最終更新 8月26日 20時23分)



玉城デニー氏

沖縄県の翁長雄志（おなが・たけし）知事の死去に伴う9月30日投開票の知事選で、翁長氏の後継候補として出

馬する方針を固めている自由党幹事長の玉城（たまき）デニー衆院議員（58）＝沖縄3区＝は26日、沖縄市で後援会幹部を集めた会合を開き、出馬に向けた調整状況を説明した。最終的な詰め調整を進めているとして、この日に予定していた正式な出馬表明は先送りした。

玉城氏は会合後、記者団に「小沢一郎党共同代表と27日に会い、選挙に向けてどう取り組むか最終的な確認をする」と述べた。玉城氏によると、後援会からは「一致団結して知事選に臨んでほしい」との声が出たという。

後援会幹部によると、27、28日に都内で小沢代表や野党関係者らと会談し、知事選への協力を求める。沖縄に戻った後、29日ごろに出馬を表明する方向で調整しているという。

後援会の会合には、県政与党や団体などで作る「調整会議」議長の照屋大河県議らも出席し、玉城氏に出馬を要請するに至った経過を説明した。照屋県議は会合後、「29日を目標に返事をいただき、その後、急ピッチで取り組みを進めたい」と述べた。【遠藤孝康、杣谷健太】

改憲「もっと国民的論議を」＝「五日市憲法」研究者が指摘－草案発見から50年



五日市憲法草案の複製を手にする新井勝紘元専修大教授＝21日、東京都千代田区

明治時代に作られ、現在の日本国憲法にも匹敵する民主的な内容を含むことで知られる民間の憲法草案「五日市憲法」が発見されてから27日で50年。当時東京経済大の4年生で、最初に草案を見つけた元専修大教授（日本近代史）の新井勝紘さん（74）は「当時は憲法を政府に守らせるという立憲主義の意識が強かった。改憲が政治の争点になる中、国民の側でもっと憲法論議が必要だ」と指摘する。

歴史家の色川大吉教授（現名誉教授）のゼミに所属していた新井さんは1968年8月27日、調査に入った東京都五日市町（現あきる野市）の旧家の土蔵で、箱に入った和紙24枚つづりの草案を手にした。「最初は大日本帝国憲法を書き写したものだと思っていた。まさか全くのオリジナルとは」。内容を卒論にまとめた後はそのまま歴史研究の道に進み、以来50年間、五日市憲法が生涯の研究テーマとなった。

1968年、東京都五日市町（現あきる野市）の旧家の土蔵を調査する東京経済大の学生たち。右で後ろ向きに立っ

ているのが新井勝紘元専修大教授（新井元教授提供）

当時は国会開設や憲法制定を求める自由民権運動の隆盛期。第2回国会期成同盟大会（1880年）の決議に従い、五日市憲法以外にも各地で民権結社による憲法草案が作られた。



こうした草案は審議には至らず、実際の憲法に内容が反映されることもなかった。しかし、新井さんは「国民が国の在り方を自分たちで考え、提言した。当時と同じくらいの情熱とパワーが今のわれわれにあるか」というと、負けるのではないかとみる。

五日市憲法をめぐっては、皇后さまも2013年の誕生日に「近代日本の黎明（れいめい）期に生きた人々の政治参加への強い意欲や、自国の未来に向けた熱い願いに触れ、深い感銘を覚えた」と言及され、話題になった。

安倍晋三首相は自民党の憲法改正案を秋の臨時国会に提出したい意向だが、新井さんは「絶対変えてはいけないということはないが、憲法は身近な生活に直結する。それをきちんと理解した上で判断しなければ。国民の側がもっと憲法を学ぶ必要がある」と語った。（2018/08/26-14:09）

<憲法を見つめて 住民投票の教訓>（上）大阪都構想規制なき広告、市民分断

東京新聞 2018年8月26日 朝刊

「住民投票に名を借りた市民の分断だった。二度とやりたくない」。「f u s a e」の名で市民運動をする大阪市の女性（48）がため息交じりに振り返るのは、大阪都構想の是非を問うた二〇一五年の住民投票だ。

都構想は大阪市を廃止して特別区に分割する制度改革だ。提唱者の前大阪市長・橋下徹（49）の言葉を借りれば、住民投票は政治生命をかけた「戦（いくさ）」だった。結果は反対が賛成をわずかに上回り、敗れた橋下は政界を引退した。

都構想に反対したf u s a eにとっては勝ち戦だったにもかかわらず、住民投票を嫌悪する。「都構想は住民が望んだのではなく、橋下のトップダウン。正しい情報が行き渡らないまま、その是非よりも橋下か反橋下で判断を迫られた」

橋下は都構想の住民投票を「憲法改正の予行練習」と位置づけた。改憲に前のめりなのは、橋下と気脈を通じる首相の安倍晋三（63）だ。f u s a eは「大阪市民の生活

が改憲の実験台にされた。改憲の国民投票では国民が分断されるのではないかと危ぶむ。

都構想の住民投票は国民投票と似ている。都構想をにらんで一二年に成立した大都市地域特別区設置法に基づき、国民投票と同様に法的拘束力を持つ。いずれも選挙より制約が少なく、運動費用やビラ、ポスターの作製・配布は無制限だ。

住民投票では賛成、反対のキャンペーンが過熱した。橋下率いる維新は広告費に数億円をつぎ込んだとされ、橋下自身が登場するテレビCMを投票当日まで大量に流した。映像と音声を伴うCMの影響は大きく、無制限に認めれば、資金力のある側が有利になりかねない。国民投票の場合、賛否を呼びかけるCMは投票の十四日前から禁じられるが、それ以前は自由だ。

「運動を無制限にやったからこそ、大阪ではかつてないほど高い投票率（66・83%）になった。大阪の民度は日本で一番上がったんちゃうかな」と語るのは、大阪維新の会幹事長で大阪府議の今井豊（61）だ。

その今井も、資金力の有無が賛否を左右する可能性は否定しない。国民投票では自民党と共闘するかもしれない。「自民党はなんぼでも金あるやん。その差は絶対に出てきますよ」

住民投票や海外の国民投票に詳しいジャーナリストの今井一（64）は「CMは、自分は影響を受けていないと思っても、無意識のうちに影響を受けてしまう怖さがある」とCM規制の必要性を訴える。

その上で国民的議論の広がり期待する。「いま一番やらなければいけないのは議論の場を設けることだ。安倍改憲に賛成の人と反対の人が毎月のように討論会を開き、直接意見を戦わせてほしい」 =敬称略

◇ ◇

日本では国民投票の経験はないが、地方では住民投票が四百件以上も行われている。国民が議員を介さず、自ら一票を投じて国や自治体の意思決定に参加する直接民主制とはどういうものか。改憲が大きな争点になりそうな九月の自民党総裁選を前に、住民投票の経験から考える。（佐藤圭）

<憲法改正手続き> 憲法96条は、衆参各院の総議員の3分の2以上の賛成で国会が改憲案を発議し、国民投票で過半数の賛成を得る必要があると定めている。この手続きを具体化した国民投票法が第1次安倍内閣の2007年に成立した。国民投票は、発議後60日から180日以内で国会が議決した日に実施。投票権者は18歳以上。有効投票の過半数で改憲案は成立する。

防衛大綱へ有識者懇談会 首相主宰、宇宙やサイバー論点 共同通信 2018/8/26 02:00

政府は、新たな防衛力整備の指針「防衛計画の大綱」策

定に向け、有識者懇談会を設ける方針を固めた。今月29日にも安倍晋三首相が主宰して初会合を開く。政府関係者が25日、明らかにした。新たな「戦場」と目される宇宙やサイバー分野、電磁波による電子戦といった領域への対応が主な論点となる。政府は、閣議決定を目指す年末に向け、新防衛大綱の策定作業を加速させる。

北朝鮮への対処として導入を目指す地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」に配備候補地などから批判の声が上がる中、今後の弾道ミサイル防衛（BMD）の在り方に「お墨付き」を得たい考えも、政府にはありそうだ。

防衛大綱へ有識者懇談会 首相主宰、29日初会合 サイバー含む新領域論点

日経新聞 2018/8/26 2:00

政府は、新たな防衛力整備の指針「防衛計画の大綱」策定に向け、有識者懇談会を設ける方針を固めた。今月29日にも安倍晋三首相が主宰して初会合を開く。政府関係者が25日、明らかにした。新たな「戦場」と目される宇宙やサイバー分野、電磁波による電子戦といった領域への対応が主な論点となる。政府は、閣議決定を目指す年末に向け、新防衛大綱の策定作業を加速させる。

北朝鮮への対処として導入を目指す地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」に配備候補地などから批判の声が上がる中、今後の弾道ミサイル防衛（BMD）の在り方に「お墨付き」を得たい考えも、政府にはありそうだ。

関係者によると、メンバーは防衛、外交の実務経験者や学識者らで構成し、政府側から首相や小野寺五典防衛相、菅義偉官房長官、河野太郎外相らも出席。29日以降、月に2回程程度のペースで開催する。

人工衛星などを守る宇宙防衛、指揮系統を混乱させる目的のサイバー攻撃を受けた際の対処能力向上も主要課題。宇宙やサイバー空間で陸海空の自衛隊が枠を超え対処する「領域横断」の仕組み作りのほか、人工知能（AI）の活用策について意見を聞き、防衛大綱に反映させる意向だ。

日本の弾道ミサイル防衛の在り方、沖縄県・尖閣諸島を含む南西諸島の防衛力強化の方向性などが取り上げられる見通しだ。

現大綱を策定した2013年の際、防衛省内に副大臣を長とする委員会を設け議論を進め、その後有識者懇談会に諮った。今回、内閣官房の国家安全保障局（谷内正太郎局長）と防衛省が水面下で検討を続けてきたが、自民党国防族からは「国民の目に見える形で議論を進めるべきだ」との意見が出ていた。〔共同〕

新「防衛計画の大綱」で有識者懇開催へ サイバー空間も対象に

NHK 8月26日 6時13分

新たな「防衛計画の大綱」の策定に向けて、政府は有識者

の懇談会の初会合を今月 29 日にも開く方針を固め、宇宙やサイバー空間も対象にした防衛力整備の在り方を検討することになっています。

政府は防衛力整備の指針となる新たな「防衛計画の大綱」を年末を目指して策定する方針で、国民の理解を得るためには幅広い視点が必要だとして、女性を含めた学識経験者や防衛省・自衛隊の元幹部など、有識者から意見を聞く懇談会を設けることにしています。

この有識者の懇談会について、政府は今月 29 日にも安倍総理大臣や小野寺防衛大臣も出席して、初会合を開く方針を固めました。

懇談会では、従来の陸上や海上、空域にとどまらず、宇宙やサイバー空間も対象にした防衛力整備の在り方を検討することになっています。

また、政府が配備する方針の新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」も含め、今後の弾道ミサイル防衛の在り方についても議論が行われる見通しです。

陸上イージスで再び説明会＝防衛省、安全性強調―山口



防衛省（右側）から陸上イージスの配備計画について説明を受ける山口県萩市の住民ら＝26日午後

防衛省が配備を計画する陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の住民説明会が26日、候補地の山口県萩市で開かれた。6月の説明会后、防衛省が現地調査を延期したことを受け、同市の藤道健二市長が再説明を要望していた。同省は、配備や現地調査による人体や自然環境への影響は低いとし、住民らに理解を求めた。

26日の説明会には約130人が参加。同省の担当者は「レーダーは、集落に向けて直接照射されることはない。（現地調査は）環境に配慮した方法で行う」と話した。質疑応答では、「（脅威とされる）北朝鮮の攻撃が本当にあるのか」など配備計画を疑問視する声が相次いだ。担当者は「あらゆる脅威に備えることが大切だ」と答えた。

政府は、陸上自衛隊のむつみ演習場（萩市）と新屋演習場（秋田市）への配備を目指しているが、地元の反発を受け、現地調査を行う業者を決める入札を9月に延期した。

（時事通信 2018/08/26-21:26）

自衛隊、総合火力演習を公開＝国内最大、60回目



陸上自衛隊の富士総合火力演習で、走行しながら射撃する16式機動戦闘車＝26日午前、静岡県御殿場市などの東富士演習場

国内最大規模となる陸上自衛隊の実弾射撃訓練「富士総合火力演習」が26日、東富士演習場（静岡県御殿場市など）で公開された。今年で60回目。7年連続で離島防衛を想定し、小野寺五典防衛相も視察した。

今年3月に新編された水陸機動団の水陸両用車と即応機動連隊の機動戦闘車が初めて射撃を公開。離島が侵略される想定には、新たに電子戦も追加された。想定では、海上自衛隊のP1哨戒機や航空自衛隊のF2戦闘機らと連携して、水陸機動団が展開。戦車など主力部隊が到着すると、一斉に攻撃して制圧した。



公開された陸上自衛隊の富士総合火力演習＝26日午後、静岡県御殿場市などの東富士演習場

演習は隊員教育を目的に1961年に始まり、66年からPRのため一般公開されている。今年には隊員約2400人が参加し、戦車・装甲車約80両、火砲約60門、航空機約20機などを使用した。（時事通信 2018/08/26-16:16）

陸自、離島奪回の総合火力演習 「水陸機動団」も参加、静岡

共同通信 2018/8/26 17:32/26 17:33updated



静岡県の東富士演習場で行われた陸上自衛隊の「富士総合

火力演習」＝26 日午後

陸上自衛隊による国内最大規模の実弾射撃演習「富士総合火力演習」が 26 日、静岡県の東富士演習場で一般公開され、敵に占領された離島を奪回する想定で、陸海空 3 自衛隊が統合作戦を展開した。

演習には今年 3 月に長崎県佐世保市の相浦駐屯地に新設された離島防衛の専門部隊「水陸機動団」の隊員を含む約 2400 人が参加。水陸機動団の水陸両用車と、各種事態に速やかに対処する「即応機動連隊」が保有する機動戦闘車の射撃がそれぞれ初めて披露された。

海自の哨戒機が情報収集し、空自の戦闘機が上陸した敵の部隊を攻撃。陸自が戦車や火砲などで射撃し、島を奪回するまでの流れを確認した。

陸自、離島防衛の実弾訓練を公開 水陸機動団が初参加 朝日新聞デジタル古城博隆 2018 年 8 月 26 日 18 時 26 分



射撃を披露する

16 式機動戦闘車＝静岡県の東富士演習場



射撃を披露する

16 式機動戦闘車＝静岡県の東富士演習場



陸上自衛隊最大の实弾訓練「富士総合火力演習」が 26

日、静岡県の東富士演習場で公開された。富士山の裾野を離島に見立て、陸自が強化している離島防衛の能力をアピールした。

演習には 3 月に新設された離島奪回部隊「水陸機動団」が参加。最新装備の水陸両用車（AAV7）や 16 式機動戦闘車（16MCV）が射撃を披露した。シナリオ上、レーダーや無線通信をめぐる攻防「電子戦」が初めて取り入れられ、相手の通信を妨害するネットワーク電子戦システム（NEWS）を載せた車両も登場した。防衛省が年末に向けて見直す「防衛計画の大綱（防衛大綱）」で重視する電子戦や宇宙・サイバー分野を踏まえた内容となった。

演習には隊員約 2400 人、戦車・装甲車約 80 両、火砲約 60 門、ヘリや戦闘機約 20 機が参加した。予算は弾薬約 5 億円を含む約 6 億円。約 28 倍の抽選でチケットを得た人たちを含む約 2 万 4 千人（主催者発表）が観客席から見学し、小野寺五典防衛相も会場で視察した。（古城博隆）

陸自最大規模の実弾射撃演習...離島侵攻を想定

読売新聞 2018 年 08 月 26 日 20 時 03 分



陸上自衛隊の「富士総合火力演習」で砲撃を行う「16 式戦車」（26 日、東富士演習場で）＝大石健登撮影



一般公開された陸上自衛隊の「富士総合火力演習」（26 日、東富士演習場で）＝大石健登撮影

陸上自衛隊最大規模の実弾射撃演習「富士総合火力演習」が 26 日、静岡県の東富士演習場で一般公開された。離島侵攻を想定した訓練が行われ、水陸両用車や機動戦闘車など新型車両の射撃が初めて披露された。敵部隊の通信網を妨害電波で遮断するといった電子戦システムを搭載した車両も初めて投入され、より実戦に近い形で行われた。

産経新聞 2018.8.26 15:44 更新

陸自最大の射撃訓練「富士総合火力演習」 離島奪還を想定、水陸両用車の射撃を初披露



最新鋭の16式機動戦闘車

が初めて実弾射撃を披露した＝26日午前、静岡県御殿場市（撮影・梶川浩伸）

陸上自衛隊による国内最大の実弾射撃訓練「富士総合火力演習（総火演）」が26日、東富士演習場（静岡県御殿場市など）で一般公開された。敵部隊の離島侵攻を想定し、陸海空3自衛隊による統合作戦で敵を制圧、奪還する一連の流れを披露した。

演習には隊員約2400人、戦車・装甲車約80両、火炮約60門、航空機約20機などが参加。「10式戦車」や対戦車ヘリコプターなどが轟音（ごうおん）とともに標的を正確に撃破し、日ごろの鍛錬の成果を示した。

離島防衛を象徴する水陸機動団の「水陸両用車(AAV)」や「16式機動戦闘車」も登場し、総火演では初めて実際の射撃演習を行った。敵ネットワークを遮断する電子戦の攻防も初めてシナリオに組み込んだ。

陸自の上陸や奪還を支援する想定で、航空自衛隊のF2戦闘機や海上自衛隊のP1哨戒機も参加した。演習で使われた弾薬の総量は約36トン（約3億9千万円相当）にのぼった。

防衛省によると、約2万4千人が演習を観覧。小野寺五典（いつのり）防衛相や自衛隊制服組トップの河野克俊統合幕僚長らも視察した。



陸上自衛隊 大規模演習を公開 「水陸機動団」が初参加 NHK8月26日 15時19分



陸上自衛隊の実弾を使った大規模な演習が静岡県の東富士演習場で公開され、上陸作戦の専門部隊として新たに発足した「水陸機動団」が初めて参加しました。

東富士演習場で毎年行われているこの演習は、陸上自衛隊が一般に公開するものでは最大規模の演習で、隊員およそ2400人のほか、戦車などおよそ80両の車両や航空機およそ20機が参加しました。

南西諸島の防衛態勢の強化が進む中、ことしの演習も離島が侵攻されたという想定で行われ、上陸作戦の専門部隊としてことし3月に発足した水陸機動団が初めて参加しました。

水陸機動団の隊員たちは現場の状況を偵察したあと、AAV7という水上を航行してそのまま上陸できる水陸両用車を使って展開しました。

演習ではこのほか、戦車のような大砲を備えながら高速で移動できる「機動戦闘車」の射撃やヘリコプターで隊員を運び展開する様子などが公開されました。

陸上自衛隊によりますと、26日の一日の演習で使われた弾薬は36トンで、金額にしておよそ3億9000万円に上るということです。



東富士演習場で毎年行われているこの演習は、陸上自衛隊が一般に公開するものでは最大規模の演習で、隊員およそ2400人のほか、戦車などおよそ80両の車両や航空機およそ20機が参加しました。

南西諸島の防衛態勢の強化が進む中、ことしの演習も離島が侵攻されたという想定で行われ、上陸作戦の専門部隊としてことし3月に発足した水陸機動団が初めて参加しました。

水陸機動団の隊員たちは現場の状況を偵察したあと、AAV7という水上を航行してそのまま上陸できる水陸両用車を使って展開しました。

演習ではこのほか、戦車のような大砲を備えながら高速で移動できる「機動戦闘車」の射撃やヘリコプターで隊員を運び展開する様子などが公開されました。

陸上自衛隊によりますと、26日の一日の演習で使われた弾薬は36トンで、金額にしておよそ3億9000万円に上るということです。

異色経歴、次期在日米陸軍トップ＝戦火ベトナム脱出、韓国勤務も



在日米陸軍司令官に就任する米陸軍のビエット・ルオン少将＝6月、韓国の米軍基地（米陸軍ホームページより）

在日米陸軍（司令部・神奈川県のカンパ座間）の次期司令官に在韓米陸軍の作戦担当幹部だったビエット・ルオン少将が内定し、近く就任することが26日、関係者への取材で分かった。ルオン氏はベトナム出身で、子供の頃に戦火の祖国を家族と逃れ米国に移住。将官まで上り詰めた異色の経歴を持つ。

東アジアに展開する米陸軍をめぐるのは、「中長期的には在韓米軍の陸上戦力が削減される一方で、軍事バランスを維持するために在日米軍基地を前方展開拠点にした機動性がより重視される」（防衛省関係者）との見方もある。作戦・運用に詳しいルオン氏の日本への異動は、在韓米軍の体制見直しの布石になるのか注目されそうだ。



在日米陸軍基地の「キャンプ座間」＝6月30日、神奈川県

米陸軍によると、ルオン氏の父親はベトナム戦争当時、米軍が支援した南ベトナム軍の将校だった。1975年4月のサイゴン（現ホーチミン）陥落直前、当時9歳だったルオン氏は家族と共に米空母に逃れて脱出。政治難民として米国に移住した。

米陸軍に入隊し、イラク戦争やアフガニスタンの対テロ戦などに参加。2017年から韓国に駐留する主力部隊の米陸軍第8軍の副司令官（作戦担当）を務めた。

在日米陸軍は約2500人。兵たん物資や弾薬の管理・保管などの後方支援のほか、弾道ミサイル防衛のレーダーの運用を担っている。沖縄県には特殊部隊が駐留している。（時事通信 2018/08/26-14:16）

産経新聞 2018.8.26 09:50 更新

マケイン上院議員が死去 2008年米大統領選の共和党候補



死去した米共和党のマケイン上院議員（AP）

【ワシントン＝黒瀬悦成】2008年米大統領選に立候補した共和党の重鎮、ジョン・マケイン上院議員が25日、脳腫瘍のため死去した。マケイン氏の事務所が発表した。81歳。家族が24日に脳腫瘍の治療を打ち切ったと発表していた。

1936年、父親と祖父が海軍提督の軍人一家に生まれ、自身も海軍士官学校を卒業。ベトナム戦争に空母艦載機のパイロットとして派遣され、67年にハノイ上空で撃墜されて捕虜となった。約5年半にわたる捕虜生活で北ベトナム兵から激しい拷問を受け、腕が肩より上に上げられなくなる障害を負ったが、釈放されるまで虐待に屈せず、「英雄」として帰還した。

退役後は政界に転じ、82年に下院選で当選した後、86年から上院議員を務めた。党の方針に必ずしも従わない「一匹狼」の異名をとり、移民制度改革法案を民主党議員と共同提出するなど、内政問題ではリベラル寄りの立場を示した。

一方、外交政策では対外強硬派として知られ、同盟国を中心とした民主体制国家との連携を重視。日米同盟の強化も掲げ、北朝鮮による日本人拉致問題にも強い関心を示した。

2008年大統領選では共和党候補として民主党のオバマ氏に敗北。00年の大統領選の共和党の候補指名争いにも出馬し、序盤の勝利で「マケイン旋風」を起こしたが、最終的に息子ブッシュ氏に敗れた。

15年から上院軍事委員長を務めた。昨年7月に脳腫瘍と診断されてからも議員活動を続けたが、今年は議会には行かず、地元アリゾナ州で闘病を続けていた。

マケイン氏と対立してきたトランプ大統領は25日、ツイッターで「マケイン上院議員のご遺族に心からの哀悼の意と敬意を表します」と述べた。





産経新聞 2018.8.26 22:44 更新

【マケイン氏評伝】ベトナム戦争の英雄 日米同盟を強固に支持 ワシントン駐在客員特派員・古森義久



米ワシントンで、北ベトナムから解放

され、松葉杖をつきながらニクソン大統領（左）と握手するマケイン氏＝1973年5月25日（AP）

「ベトナムからはあれほどひどい扱いを受けたのに、なお魅されてしまう。不思議です」

マケイン議員はこんなことをもらした。1990年、上院議員事務所で聞いた言葉だった。自分の人生ではやはりベトナム体験が最も激烈な出来事だったという告白とも受け取れた。

祖父も父も海軍大将という一家に生まれた彼はベトナム戦争に米海軍の精強パイロットとして参戦した。だが1967年、北ベトナムを爆撃中に撃墜され、5年半も捕虜となった。父親の米海軍での地位のために特別の解放をも持ちかけられたが断った。拘束中は米国の歴史と人生の意味について思索にふけることで苦痛に耐えたという。

解放後は海軍の議会連絡担当官となったことが政治への道を開いた。アリゾナ州から下院議員に当選、すぐに上院に転じた。そのころインタビューを求めると、いつも快諾してくれた。こちらもベトナムに記者として4年近く駐在したことを告げると、マケイン氏はベトナム戦争の大義や戦後のベトナムとの和解を熱をこめて語った。上院議員が外国人記者になぜこれほどの時間と情熱で語るのかと、いぶかるほどだった。答えは彼の内なるベトナムだったと思う。

その後のマケイン氏は戦争ヒーローから異端の有力政治リーダーへの道を走っていった。共和党の穏健保守の路線だったが、安全保障や軍事となると、大勢に逆らっても強い政策提言を曲げなかった。イラクのクウェート侵攻への強い反発、そしてブッシュ政権の2003年からのイラク攻撃でも介入縮小が多数意見になったときに、逆に米軍大幅増強を主張した。その結果、戦局ががらりと米軍に有利

に変わり、後の離脱を可能にした。

マケイン議員は日米同盟の強固な支持者でもあった。日米貿易摩擦で米国議会に出た日本に制裁を加える法案にはすべて反対した。安保面で重要な同盟国だからという理由だった。その一方、イラクのクウェート占領に対する米国主導の反撃に日本が参加しなかったことには「米国の同盟国、そして国際国家として異色の憲法の陰に隠れてなにもしないことは不適切だ」と非難した。

マケイン議員は米側の一部にあった日本の防衛強化は危険だとする主張にも「日本の軍国主義復活説には根拠はなく、むしろ消極平和主義が問題だ」と述べ、日米同盟のより対等で緊密な強化をも求めている。（ワシントン駐在客員特派員 古森義久）

安倍首相、総裁選出馬を表明＝鹿児島で3期目に決意－石破氏と一騎打ち



自民党総裁選への出馬を表明する安倍晋三首相＝26日午後、鹿児島県垂水市

安倍晋三首相（自民党総裁、63）は26日午後、訪問先の鹿児島県垂水市で9月の党総裁選（7日告示、20日投票）への立候補を正式に表明した。既に出馬の意向を示している石破茂元幹事長（61）との一騎打ちの構図が固まり、2012年以来6年ぶりの選挙戦となる。首相の政権担当継続の是非や憲法改正の進め方を主な争点に論戦が展開される。

首相は記者団に、経済や外交分野を中心に5年半余りの政権運営の実績を強調。その上で「あと3年、自民党総裁、首相として日本のかじ取りを担う決意だ」と述べ、連続3選へ支持を訴えた。

首相はまた、19年に皇位継承、20年に東京五輪・パラリンピックが控えていることなどに触れ、「日本は大きな歴史の転換点を迎える。平成のその先の時代に向け、新たな国造りを進める先頭に立つ」と語った。

この後、首相は鹿児島市内での党県連会合に出席。憲法改正に関し「今まで以上に全ての人生を懸け、努力を重ねる」と語った。

地方での出馬表明は異例。石破氏が農林水産業の活性化など、地方創生を公約の柱に据えたことを意識したとみられる。

石破氏は滋賀県草津市で記者団の取材に応じ、「議論する場をできるだけ多くつくるのが、国家・国民に対し果た

すべき責任であり、首相の意向、私の考え方に沿う」と述べ、政策面での論争に期待を示した。

今回の総裁選は、党所属国会議員405人が1票ずつ投票し、党員・党友投票を基に算出される地方票にも同数の405票が割り当てられる。首相の出身派閥である細田派など党内5派閥の支持を得た首相は国会議員票で優位に立っており、比重が増した地方票の行方が焦点となる。(時事通信 2018/08/26-19:13)

「薩摩・長州で新時代」＝安倍首相

安倍晋三首相は、自民党総裁選への出馬を表明する舞台に鹿児島県を選んだ。首相の地元の山口との「薩長同盟」が明治維新の契機となったことにちなんだとみられる。出馬表明に先立つ26日午後、鹿児島県鹿屋市の会合で講演した首相は「しっかり薩摩藩、長州藩で力を合わせて新たな時代を切り開いていきたい」と力を込めた。

ただ、薩長が中心の新政府軍が戊辰戦争で会津藩などを攻め立てた歴史があり、旧幕府軍側だった地域で反発が出る可能性もある。

講演で首相は、自らが鹿児島県の特産品「大島紬(つむぎ)」のネクタイを着用していることもアピール。同県出身のサッカーの大迫勇也選手にも触れ「まさに『半端ない』という感じだった。私たちもああいう風になりたい」などと語った。(時事通信 2018/08/26-19:20)

安倍首相発言全文＝自民総裁選出馬

安倍晋三首相の自民党総裁選出馬に関する発言は次の通り。

－総裁選告示まで2週間で切ったが、出馬についての考えは。

日本を取り戻す。この志の下、党一丸となってこの5年8カ月、内政、外交に全力を尽くしてきた。5回の国政選挙において、国民の皆さまから安定的な政治基盤をいただき、誰にも働く場所があるまっとうな経済を取り戻し、外交においては日本の大きな存在感を取り戻すことができた。今こそ少子高齢化、激動する国際情勢に立ち向かい、次の時代の新たな国造りを進めていく準備は整った。この思いで昨年、総選挙に打って出た。そして国民の皆さまから大きな支持をいただいたのはわずか11カ月前のことだ。

この国民の皆さまの負託に応えていくことは私の責任だ。来年、皇位の継承(があり)、そして日本で初めて20カ国・地域(G20)首脳会議を開催する。そして、そのさらに先には東京五輪・パラリンピックが開催される。まさに日本は大きな歴史の転換点を迎える。今こそ日本のあすを切り開く時だ。平成のその先の時代に向けて、新たな国造りを進めていく。その先頭に立つ決意だ。6年前、大変厳しい総裁選を戦った。厳しい総裁選となることは初めから分かっていたが、国民のため、日本国のために、それでもな

お挑戦しなければならない。その決意は今でも変わりはない。その時の志にはいささかの揺らぎもない。

そしてこの志を支える気力、体力、十二分であるとの確信に至った以上、責任を果たしていかねなければならないと考えている。子どもたちの世代、そして孫たちの世代に美しい伝統あるふるさとを、そして誇りある日本を引き渡していくために、あと3年、自民党総裁として、首相として日本のかじ取りを担う決意だ。その決意の下、来月の総裁選に出馬する。

－総裁選の争点は。

総裁選の争点、これから先のまさに歴史の大きな転換点を迎える中であって、日本の国造りをどのように進めていくか、どのような国造りをしていくかということが争点であろうと思う。そういう骨太の議論をしていきたいと思っている。

－石破茂元幹事長が政策テーマごとの討論会開催を求めているが。

これはまさにどのような総裁選にしていくか。それぞれの候補者が自分の考え方を持っているのだらうと思う。その中で自民党において選挙管理委員会があるから、その中で今までの総裁選と同じようにルールを決めて、しっかりと論戦を戦わせるべきなのだろうと思う。(時事通信 2018/08/26-17:34)

首相、総裁選立候補を正式表明 石破氏と対決 共同通信 2018/8/27 01:01



桜島を背に、自民党総裁選への立候補を正式に表明する安倍首相＝26日午後、鹿児島県垂水市

安倍晋三首相(自民党総裁)は26日午後、視察先の鹿児島県垂水市で、党総裁選(9月7日告示、同20日投開票)への立候補を正式に表明した。記者団に「あと3年、日本のかじ取りを担う決意だ」と述べ、連続3選を目指す意向を示した。一方、野田聖子総務相は立候補を見送る方向となり、既に出馬会見を済ませた石破茂元幹事長と首相による一騎打ちの構図が固まった。総裁選は2012年以来6年ぶりの選挙戦となる。

憲法改正や地方創生、アベノミクス、官邸主導の政権運営の在り方などを争点に議論が交わされそうだ。政策関連の記者会見は9月7日に行う予定だ。

安倍首相、総裁選に立候補を表明 石破氏との一騎打ちへ 朝日新聞デジタル 2018年8月26日 18時41分



自民

党総裁選への立候補を表明する安倍晋三総裁＝26日午後3時52分、鹿児島県垂水市、伊藤進之介撮影

自民党総裁の安倍晋三首相（63）は26日、訪問先の鹿児島県垂水（たるみず）市で記者団に対して、9月7日告示、20日投票の党総裁選に3選をめざし立候補する考えを正式に表明した。すでに立候補を表明している石破茂・元幹事長（61）との一騎打ちとなる公算が大きく、6年ぶりの選挙戦となる。

首相は記者団に「総選挙で国民から大きな支持をいただいたのは、わずか11カ月前のことだ。負託に応えていくことは私の責任だ」と強調。来年以降に皇位継承や大阪で開く主要20カ国・地域首脳会議（G20サミット）、東京五輪が続くことも挙げて「日本は大きな歴史の転換点を迎える。今こそ日本の明日を切り開くときだ。平成の先の時代にむけて、新たな国づくりを進めていく。その先頭に立つ決意だ」と語った。

総裁選の争点については「どのような国づくりをしていくかが争点であろう。骨太の議論をしていきたい」と語るにとどめた。具体的な政策は改めて発表する方向だが、立候補表明に先立つ党所属議員の会合での演説では「憲法改正に取り組むべきときを迎えている」と述べた。改憲実現を前面に掲げる考えだ。

首相は衆院山口4区選出で当選9回。党幹事長や官房長官を経て2006年に首相に就いたが、07年参院選に敗れた後、体調を崩し1年で辞任。12年に総裁に返り咲き、同年の衆院選に勝利して再び首相となった。14年、17年の衆院選にも勝利し、政権復帰から5年8カ月がたっている。

総裁選では、党内7派閥のうち5派閥が首相支持を決定し、国会議員票（405票）の約7割を首相が固めた。6年前は石破氏が首相を上回った地方票（405票）の行方が焦点。首相が3選すれば任期は21年までで、来年末には首相の通算在任期間が歴代最長の桂太郎（2886日）を抜く可能性がある。

「西郷どん」意識した首相 総裁選の出馬表明、鹿児島で



自民党

総裁選への立候補を表明後、花束を受け取り、笑顔を見せる安倍晋三総裁＝26日午後3時54分、鹿児島県垂水市、伊藤進之介撮影



自民党総裁選への立候補を鹿児島県で表明した安倍晋三首相。地方視察にあわせた異例の表明には、あの「ドラマ」の存在もあった。

26日午後、快晴の鹿児島県垂水（たるみず）市。錦江（きんこう）湾越しに見える雄大な桜島を背景に、首相は総裁選への立候補を正式に表明した。「あと3年、自民党総裁として、首相として日本のかじ取りを担う決意だ。来月の総裁選挙に出馬します」

総裁選への立候補表明を、地方視察にあわせるのは異例だ。カメラ視線で語る出馬表明をNHKが生中継した。山口が地盤の首相は放映中の大河ドラマ「西郷（せご）どん」を意識。直前には鹿児島選出議員が開いた会合の演説で「今晚は西郷どん。薩長で力を合わせて、新たな時代を切り開いていきたい」と語った。若者向けにPRできる「インスタ映え」の意識もにじむ。

地方重視の姿勢を強調する意味合いに加え、来年の統一選と参院選に向けた動きでもある。12年に1回、二つの選挙が重なる「亥年（いとし）選挙」は、統一選で疲弊した自民党組織が力を発揮できず、参院選が苦しくなりやすいとされる。首相が第1次政権を担っていた12年前の07年の統一選では野党民主党が躍進し、参院選で自民党は惨敗。その後首相は体調不良で退陣した経緯があるためだ。出馬表明遅らせた背景

首相自身、地方議員を首相官邸や公邸に招いて写真撮影に応じるなど水面下では活発に動いてきたが、正式な表明

は遅れに遅れた。6月に「せみの声が相当にぎやかになってきた頃」と説明したが、7月には「せみ時雨を聞きながらよく考えたい」と足踏み。結局、せみの声が終わりつつある8月末にずれ込んだ。

表明を遅らせたのは、森友・加計学園問題などを念頭に、政権の政治手法を争点に掲げる石破茂元幹事長との論戦を避ける狙いが透ける。当初は、岸田文雄政調会長や野田聖子総務相らを交えた3人以上の候補者になるとの見方もあったが、一騎打ちの見通しに。首相と距離を置く青木幹雄・元参院議員会長の影響で参院竹下派が石破氏支持に流れたのも大きな誤算だった。批判票が石破氏に集まることを警戒する首相周辺は「党の選挙なのに一般人に届くような討論会をしても仕方ない」と語る。

しかし、仮に3選された場合でも、それが森友・加計学園問題の決着にはならない。6月の米朝首脳会談を機に意欲を示してきた日朝首脳会談も実現に向けた具体的な動きは乏しい。北方領土問題を含め外交成果を大きくアピールできる機会も見当たらない。

26日の演説で「憲法に自衛隊を明記することは自民党員の責務だ」と意欲を示した「改憲」が数少ない旗印だが、野党の反発は激しく、発議のメドは全くたたない。党則で認められない「4選」は政治的にも難しいだけに、次の3年は「次の総裁候補」に注目が集まっていく。総裁選で「圧勝」できるかが、3選後も求心力を保てるかを占う試金石となる。(小野甲太郎)

自民党総裁選 安倍首相出馬表明「あと3年、かじ取り」
毎日新聞 2018年8月26日 16時01分(最終更新 8月26日 21時03分)



安倍晋三首相＝川田雅浩撮影

安倍晋三首相(63)は26日、9月7日告示・20日投開票の自民党総裁選に立候補すると正式に表明した。訪問先の鹿児島県垂水市で記者団に「子供、孫の世代に美しい伝統あるふるさと、誇りある日本を引き渡すため、あと3年、党総裁、首相として日本のかじ取りを担う決意だ。来月の総裁選に出馬する」と明言した。既に出馬表明した石破茂元幹事長(61)との一騎打ちの見通しで、2012年以来6年ぶりの選挙戦となる。

首相は「この5年8カ月、内政・外交に全力を尽くしてきた。昨年の衆院選で大きな支持をいただいたのはわずか11カ月前で、国民の負託に応えるのは私の責任だ」と述べ、政権継続に意欲を示した。

出馬を決めた理由については「6年前に厳しい総裁選を戦った。国民のため日本のため、挑戦しなければならないとの決意に変わりはない。気力、体力は十二分だという確信に至った以上、責任を果たさなければならない」と説明した。

来年には天皇陛下の退位やG20(主要20カ国・地域)首脳会議の日本開催が予定され、20年に東京五輪・パラリンピックも控えていると指摘。「平成の先の時代に向け、新たな国造りの先頭に立つ」と訴えた。

総裁選の争点については「骨太の議論をしたい」などと語るにとどめた。石破氏が求めている政策別の討論会開催には慎重な姿勢をにじませた。

首相は1993年衆院選で初当選し、党幹事長、官房長官などを歴任。06年総裁選で勝利して首相に就任したが、07年の参院選大敗後に体調を崩して辞任した。12年の総裁選で石破氏らを破って総裁に復帰し、首相に再登板。15年総裁選では無投票再選しており、今回は連続3選を目指す。党内7派閥のうち細田派など5派と竹下派の衆院側が首相を支持し、国会議員票で優勢な状況だ。

石破氏は26日、滋賀県草津市で記者団に「選挙戦になるのが正式に決まったのはありがたい。日本の民主主義にとってあるべきことだ」と語った。野田聖子総務相(57)は推薦人集めが難航し、出馬が困難な情勢になっている。

【野間口陽】

安倍政権5年8カ月 首相の手腕、何点？ 識者に聞く
毎日新聞 2018年8月26日 23時48分(最終更新 8月27日 01時41分)

安倍首相の5年8カ月の評価は？



安倍首相の5年8カ月の評価は？

自民党総裁選は、安倍晋三首相の26日の出馬表明を受け、6年ぶりの選挙戦になることが決まった。2012年に石破茂元幹事長に勝利し、無投票だった15年をまたいで5年8カ月の長期政権を築いた安倍首相を識者らはどう評価するのか。総裁選を前に、その手腕を採点してもらった。

12年12月に政権奪還した安倍首相は「アベノミクス」を掲げ、大胆な金融緩和政策などによって株高を実現し、有効求人倍率などの指標を好転させた。一方で、安全保障関連法の整備は憲法解釈変更も含めて強硬に進め、今年の通常国会でも働き方改革関連法などを強引な採決で成立させた。森友、加計学園を巡る問題では昨年来、「お友達優遇」などと厳しい批判を浴びた。

こうした手法を問題視する旧自治省出身で元総務相の片山善博・早稲田大大学院教授（政治学）は100点満点で20点を付けた。「安倍政権下で官僚が萎縮し、事なかれ主義に陥ってしまった」と厳しい。「日銀の独立性が失われ、かつては重みのあった内閣法制局の言葉も信頼されなくなった。国民に信頼される要素が、政治や行政の現場からどんどん失われている」と話した。

精神科医の香山リカさんも15点と辛口評価。「問題が起きても『国民が忘れてくれる』という態度で閣僚や官僚が責任を取らない。政権批判をすれば、（政権支持者らからインターネット上で）『非国民』『反日』などと、かつては使われなかった言葉で攻撃されるようになってしまった。良い面を考慮してもあまりある悪影響が社会に起きている」と懸念した。

これに対し、子育て問題解決に取り組むNPO法人「フローレンス」代表理事の駒崎弘樹さんは70点の高評価。「女性の就労が経済成長につながるとして保育政策に力を入れてきた点は評価できる。待機児童解消も進めている」と話す。ただ、性的少数者（LGBTなど）を「生産性がない」とした杉田水脈衆院議員の発言などを例に、「人権や女性活躍から距離のある発言が与党から出ていることは残念」とした。

世代・トレンド評論家の牛窪恵さんは50点と採点。「若い世代の就職率が上向き、若者の気持ちに余裕が芽生え、希望を持てるようになった」と評価。一方で、「社会保障への将来不安に抜本的な対策を取らず、長期政権なのに成長戦略として大胆な経済政策が取られていない」とした。首相が意欲を燃やす憲法改正にも「改正の先にどのような国を目指すかという理念が見えない」と語った。

総裁選にはどのような論戦が望まれるだろうか。片山さんは「安倍政権のガバナンス（組織統治）能力の検証。首相への信頼度も争点」とし、駒崎さんは「人口減少社会で、現実的かつ未来に希望を持てるビジョンについての議論を期待したい」と述べた。【杉本修作】

石破氏「骨太の議論、私もしたい」 安倍首相の表明受け
朝日新聞デジタル 2018年8月27日 01時53分



記者団の取材に応じる自民党の石破茂元幹事長＝2018年8月26日午後11時37分、東京都港区、岩尾真宏撮影

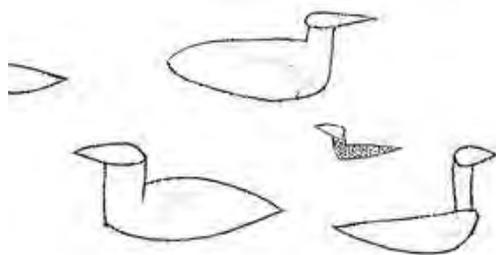
自民党の石破茂・元幹事長（発言録）

（安倍晋三首相が26日に党総裁選への出馬表明で「骨太の議論をしていきたい」と述べたことについて）私もしたい。「骨太」が何を示しているのか分からないが、抽象論ではなく具体論を含めたということだと思う。言いつ放し、聞きつ放しは議論とは言わない。互いが質問し、聞いている方の理解が深まっていくのを議論という。

（一ズの見直しについて）いろんな意見を聞くのは必要なことだが、「正直、公正」は私がずっと掲げ続けたテーマであり、「正直で公正な政治を目指す」という自分の確固たる政治姿勢を変えることはない。

（総裁選でまず論戦を挑むテーマについて）国民の関心が高いテーマを重点的に取り上げるべきだ。年金、介護、子育てや経済政策が非常に国民の関心が高い。（自身のセールスポイントは）具体的な政策だ。（同じ）自民党だから、天と地ほど政策が違うことはあり得ないが、そこに至る道筋をどうするかは当然相違がある。国民が納得、共感してくださるものを提示していきたい。（26日夜、都内で記者団）

首相、総裁選への2つのトラウマ 亥年選挙と祖父の悔い
朝日新聞デジタル編集委員・曾我豪 2018年8月26日 09時46分



「浮き鳥」

日曜に想う

安倍晋三首相をしてここまで自民党総裁選に奔走させようとする衝動はいったいどこから来るものなのか。

一つには自らのトラウマがあろう。

今年秋の総裁選に続き、来年春に統一地方選、夏に参院選がある。この道行きは12年前の記憶を呼び起こすはずだ。

2006年秋、ポスト小泉純一郎を争う総裁選で完勝し1回目の安倍政権の船出は順風満帆に見えた。だが郵政民営化の造反組を大量に自民党へ復党させたのが躓(つまず)きの元で内閣支持率は急降下、翌07年春の統一地方選では地方議員選挙で民主党が躍進する。選挙現場の動揺を抑える間もなく、閣僚の失言や不祥事が相次いで夏の参院選で惨敗、体調不良もあって退陣した。さらに衆参のねじれは重くのしかかり、2年後、衆院選で大敗し民主党政権誕生を許した。時の首相は麻生太郎現副総理・財務相である。

それだけでなくとも12年ごとに統…

首相、総裁選出馬を表明 「あと3年、かじ取り担う」

日経新聞 2018/8/26 16:00 (2018/8/27 1:02 更新)

安倍晋三首相(自民党総裁)は26日、視察のため訪れた鹿児島県垂水市で党総裁選(9月7日告示、同20日投票)への立候補を表明した。記者団に「あと3年、日本のかじ取りを担う決意だ。その決意のもと総裁選に出馬する」と述べた。6年ぶりの選挙戦は連続3選をめざす首相と石破茂元幹事長の事実上の一騎打ちとなる見通しだ。



自民党総裁選への出馬を表明する安倍首相(26日午後、鹿児島県垂水市)

首相は「日本は大きな歴史の転換点を迎える。平成のその先の時代に向けて新たな国づくりを進めていく、その先頭に立つ決意だ」と強調した。昨年の衆院選で国民の大きな支持を得たとして「国民の負託に応えていくことは私の責任だ」と主張。総裁選の争点では「日本の国づくりをどのように進めていくかが争点だろう。骨太の議論をしたい」と語った。

首相は出馬表明の場として東京ではなく地方での発信を選んだ。総裁選は国会議員票405票と党員・党友票405票の計810票を争う。首相が主要派閥の支持を背景に国会議員票の多くをおさえ、3選が有力だ。立候補を検討する野田聖子総務相は国会議員20人の推薦人確保が難しい。

石破氏は26日夜、都内で記者団に「年金や介護、子育てや経済政策は国民の関心が高いテーマだ」と指摘し「わかりやすい議論が必要だ」と述べた。

安倍首相 総裁選立候補を正式表明「先頭に立つ決意」

NHK8月26日 18時32分

来月の自民党総裁選挙を前に、安倍総理大臣は視察先の鹿

児島県で『平成』の、その先の時代に向けて、新たな国造りを進めていく、その先頭に立つ決意だ」と述べ、3選を目指して立候補する考えを正式に表明しました。

来月7日に自民党の総裁選挙が告示されるのを前に、安倍総理大臣は25日から、およそ2か月ぶりに地方視察を行っていて、午前中、宮崎県で畜産農家の関係者と意見を交わしたのに続き、午後には鹿児島県に移動し、漁港で水揚げの様子などを視察しました。

このあと、安倍総理大臣は記者団に対し『日本を取り戻す』、この志のもと、党一丸となって5年8か月、内政・外交に全力を尽くしてきた。5回の国政選挙において国民の皆さんから安定的な政治基盤を頂き、誰にも働く場所があるまっとうな経済を取り戻し、外交においては日本の大きな存在感を取り戻すことができた」と述べ、これまでの実績を強調しました。

そのうえで『今こそ、少子高齢化、激動する国際情勢に立ち向かい次の時代の新たな国造りを進める準備は整った』、この思いで、去年、総選挙に打って出た。そして、国民の皆さんから大きな支持を頂いたのはわずか11か月前のことだ。この国民の皆さんの負託に応えていくことは私の責任だ」と述べました。

そして、安倍総理大臣は「来年は、皇位の継承、日本で初めてのG20サミット、さらにその先には2020年の東京オリンピック・パラリンピックが開催される。まさに、日本は大きな歴史の転換点を迎える。いまこそ日本のあすを切り開く時だ。『平成』のその先の時代に向けて新たな国造りを進めていく、その先頭に立つ決意だ。あと3年、日本のかじ取りを担う決意だ」と述べ、3選を目指して立候補する考えを正式に表明しました。

また、安倍総理大臣は総裁選挙の争点について「歴史の大きな転換点を迎える中であって、どのような国造りをしていくかが争点だ。そういう骨太の議論をしていきたい」と述べました。

さらに記者団が「石破元幹事長はテーマごとに議論すべきだとしているが」と質問したのに対し、安倍総理大臣は「いままでと同じようにルールを決めて、しっかりと論戦を戦わせるべきだろうと思う」と述べました。

石破元幹事長「選挙戦 正式に決まりありがたい」

石破元幹事長は記者団の取材に対し「選挙戦になることが正式に決まってありがたい」と述べました。

また、安倍総理大臣が視察先の鹿児島県で立候補を表明したことについて「地方を重視したい姿勢を強調したのではないと思うが、市町村ごとの課題があり、それにどう応えていくかが求められている。私は、大企業や大都市の経済成長の効果が地方に波及するとは考えておらず、安倍総理大臣とは考え方が違う」と述べました。

そのうえで「議論する場をできるだけ多く作ることが、国家、国民に対して自民党が果たすべき責任だ」と述べ、政

策テーマごとに討論会を開くよう求めました。

野田総務相「立候補やめるといふ言葉 発していない」
自民党総裁選挙への立候補に意欲を示す野田総務大臣は、岐阜市であいさつし「一度も、あきらめるとか立候補をやめるといふ言葉は発していないのに、すでにそういう空気が作られてしまった。私は、見た目より粘り強い女で、私の力がないゆえに苦勞している仲間とともに、絶対に諦めずに、しっかりゴールを目指して頑張りたい」と述べました。

安倍氏の経歴

安倍晋三氏は衆議院山口4区選出の当選9回で63歳。祖父は岸信介元総理大臣、父は外務大臣や自民党の幹事長などを務めた安倍晋太郎氏です。

安倍氏は、大手鉄鋼メーカーの会社員を経て、平成5年の衆議院選挙で初当選しました。平成15年には49歳の若さで自民党の幹事長に抜てきされ、その2年後には、第3次小泉内閣で官房長官として初入閣しました。

そして、平成18年の総裁選挙に立候補し、戦後最年少の52歳で第90代の内閣総理大臣に就任しました。しかし、翌年の参議院選挙で大敗し、衆議院と参議院で多数派が異なるねじれの状態を招き、健康状態の悪化もあって、就任からおよそ1年で退陣しました。

その後、自民党が野党時代の6年前の総裁選挙に再び立候補し、1回目の投票では2位にとどまったものの、決選投票で石破元幹事長を破って総裁に選出されました。

その年の12月の衆議院選挙では圧勝して政権を奪還し、総理大臣の座に返り咲き、去年10月の衆議院選挙まで、国政選挙では5連勝しています。

3年前の総裁選挙では無投票で再選され、去年、党則が変わり、総裁の任期が、「1期3年、連続2期まで」から「連続3期まで」に延長されて、今回の総裁選挙に立候補できることになりました。

総理大臣の通算在任期間は戦後歴代3位となっていて、今回、3選を果たせば、戦前も含めて、憲政史上、最長の在任期間も視野に入ります。

自民党総裁選 安倍首相と石破元幹事長の対決へ

NHK8月27日 5時04分



自民党総裁選挙は、安倍総理大臣が26日、3選を目指して立候補する考えを正式に表明しました。石破元幹事長との2人による対決となる見通しで、6年ぶりの選挙戦に向

けて、今後、両陣営の動きが本格化します。

来月7日に告示される自民党総裁選挙を前に、安倍総理大臣は26日、視察先の鹿児島県で、「平成の、その先の時代に向けて、新たな国造りを進める先頭に立つ決意だ」と述べ、3選を目指して立候補する考えを正式に表明しました。そのうえで、「どのような国造りをしていくかが争点だ。骨太の議論をしていきたい」と述べました。

これに対し、石破元幹事長は26日夜、「活発な議論を展開する場が作られることを願っている。抽象論ではなく、具体論を議論したい」と述べ、社会保障や経済政策などをテーマに討論会を開くよう重ねて求めました。

一方、野田総務大臣は、26日も「諦めずに頑張りたい」と述べましたが、党内では、立候補に必要な推薦人の確保は難しいという見方が支配的で、6年ぶりの選挙戦となる総裁選挙は、安倍総理大臣と石破氏の2人による対決となる見通しです。

安倍総理大臣は、求心力を維持するために、国会議員票と党員票の両方で勝利を目指す方針なのに対し、石破氏は、国会議員票で劣勢となっているだけに、党員票に活路を見いだしたい考えで、今後、両陣営の動きが本格化します。

総裁選の仕組み

今回の総裁選挙は、衆参両院の議長を除く「国会議員票」405票と、全国の党員らの「党員票」405票の合わせて810票で争われます。

党員らの意思が国会議員と同じ程度に反映されるよう、今回は、同じ数になっています。

「党員票」は、全国の党員らの投票を一括して集計し、得票数に応じて、いわゆるドント方式で比例配分されます。そして、「国会議員票」と「党員票」を合わせた有効票の過半数を得た候補者が当選となります。

任期は3年間、連続3期までとなっています。

野田氏、週内にも不出馬判断＝推薦人確保難航－自民総裁選

9月の自民党総裁選への立候補を目指す野田聖子総務相(57)が週内にも不出馬を最終判断する方向となった。陣営幹部が26日、明らかにした。立候補に必要な国会議員20人の推薦人を確保できるめどが立っておらず、出馬は困難との判断に傾いている。

野田氏周辺によると、これまでに確保した推薦人は10人未満という。党内各派が既に態度を決めていることに加え、野田氏が情報公開請求の内容を事前に把握し、第三者に漏らした問題も響いているとみられる。

野田氏が不出馬となった場合、陣営の主要メンバーは安倍晋三首相支持に回る見通し。陣営内には野田氏も首相を支持すべきだとの意見がある。

野田氏は26日、地元の岐阜市で自らの女性政治塾会合に出席。「絶対に諦めず、行けるところまで頑張る」と強調

した。記者団の取材には応じなかった。(時事通信 2018/08/26-18:01)

自民党総裁選 岸田氏「次は出る」 3年後の出馬に意欲
毎日新聞 2018年8月26日 19時27分(最終更新 8月27日 00時16分)



自民党の岸田文雄政調会長＝川田雅浩撮影

9月の自民党総裁選への出馬を見送った岸田文雄政調会長が26日、「ぜひ私も手を挙げたいと思います」と述べ、3年後にも想定される総裁選への出馬に意欲を示した。

この日、岸田氏は群馬県内であった山本一太参院議員の政経セミナーにゲスト参加した。今回は出馬を見送り、安倍晋三首相を支持した理由について「外交も経済も活力を取り戻し、正念場。今、首相を代えることが国益に沿うのか。国益を考えたならば、安倍首相に今しばらく頑張っていたらかなければならない」と説明した。

その上で、山本氏から「派閥の若手議員の中には、がっかりしている人も多いのでは」と問われると「ぜひ次の総裁選挙には手を挙げたい」と笑顔で出馬宣言し、聴衆から拍手がわいた。さらに、山本氏は「未来の首相候補」と持ち上げたが、「(党の総裁選に)出るだけですから」と応じていた。【杉直樹】

産経新聞 2018.8.26 20:34 更新

【国民民主党代表選】2候補、安倍晋三首相の9条改憲案に反対



国民民主党の代表選に立候補した玉木雄一郎共同代表(左)と津村啓介元内閣府政務官

国民民主党の代表選に立候補した津村啓介元内閣府政務官と玉木雄一郎共同代表は26日、憲法改正をめぐり、安

倍晋三首相(自民党総裁)が提起する9条への自衛隊明記案に反対する考えをそれぞれ表明した。9月4日の投票票へ党が岩手県一関市で開いた討論会で見解を示した。

自衛隊を明記しても自衛隊の任務や権限は変わらないと繰り返す首相の説明について、津村氏は立法事実(法律を作る根拠)がないと指摘し「首相は改憲自体を目的化している」と批判した。

玉木氏も「憲法論議はしっかり進めればいいが、首相の提案はいいかげんだ。改憲の私物化であり、大反対だ」と述べた。

文大統領の仲介、一層重要に＝米長官の訪朝中止で韓国

【ソウル時事】韓国大統領府の金宜謙報道官は26日の記者会見で、ポンペオ米国務長官の北朝鮮訪問取りやめについて、「米朝関係の行き詰まりを打開し、米朝間の理解の幅を広げる上で、文在寅大統領の仲介役としての役割がさらに大きくなった」と述べた。

その上で「文大統領はそうした側面で一層大きな役割を果たすと予想している」と強調し、9月の平壤開催で合意した次回南北首脳会談に関し、予定通り開く方向で北朝鮮側と調整を進めていく方針を示した。

金報道官は「ポンペオ氏の訪朝が実現しなかったのは残念だが、失望するのは早い。米朝両首脳とも、対話の勢いを生かしていこうとする意志は依然強い」と指摘。「南北首脳会談も、米朝対話を推進していく上で役割を果たすと期待している」と語った。(時事通信 2018/08/26-18:23)

北朝鮮、拘束の日本人追放＝違法行為犯したと指摘

【ソウル時事】朝鮮中央通信は26日、入国した日本人観光客が違法行為を犯したとして拘束した上で、北朝鮮当局が「人道主義の原則により、寛大に許し、国外に追放することにした」と報じた。拘束された日本人の名前は「スギモト・トモユキ」と伝えている。追放の日時や安否は言及していない。

日本政府関係者は、海軍造船所などがある北朝鮮西部・南浦で8月上旬、日本人男性が現地当局に拘束されたと明らかにしていた。男性は旅行目的で中朝国境から北朝鮮に入ったとされる。

朝鮮中央通信は、スギモトさんの具体的な違法行為には触れておらず、拘束期間も伝えていない。スギモトさんは30代後半で滋賀県出身、映像関係の仕事をしているという情報もある。北朝鮮当局は今後、男性の身柄を日本政府に引き渡すとみられる。

北朝鮮は1999年から2002年まで、スパイ容疑で元新聞記者の日本人を拘束していたことがある。

北朝鮮は今年7日、板門店を通じ、「不法入国」で拘束した韓国人男性を韓国側に引き渡した。韓国政府は「北朝鮮が人道主義的見地から送還した」と明らかにしていた。(時

北朝鮮、拘束日本人を国外追放へ 朝鮮中央通信が報道 朝日新聞デジタルソウル＝武田肇 2018年8月27日00時06分

北朝鮮の朝鮮中央通信は26日、同国を最近訪問した日本人観光客が罪を犯したとして関係機関の取り調べを受けていたが、人道主義の原則に基づき国外追放すると決めたと報じた。

同通信は日本人の名前を「スギモト・トモユキ」と伝えた。今月、海外の旅行会社が企画したツアーで北朝鮮に入り、西部の南浦（ナムポ）で現地当局に拘束された30代の日本人男性のことを指すとみられる。どんな法律に違反したのかや、取り調べをした日時、国外追放の時期については明らかにしていない。

同通信は「人道主義の原則に従って、寛大に許して国外に追放すると決めたと」と言及した。

北朝鮮では1999年、元新聞記者がスパイ容疑で拘束され、約2年間抑留されたことがある。（ソウル＝武田肇）

北朝鮮、拘束邦人を追放 現地報道「人道主義に基づき」 日経新聞 2018/8/27 1:02

【ソウル＝山田健一】北朝鮮の朝鮮中央通信は26日、北朝鮮で罪を犯した日本人を当局が調査し、人道主義に基づいて追放することを決めたと報道した。同通信によると、調査を受けたのは観光客として訪朝したスギモト・トモユキ氏。スギモト氏について「人道主義の原則により寛大に許すことにした」と伝えた。日本政府は確認を急いでいる。

北朝鮮で日本人男性が現地当局に拘束されたことは11日に分かった。男性は北朝鮮西部の南浦を訪れたとされる。日本政府は北京に置く大使館のルートなどを通じて早期釈放を求めている。

日本政府関係者によると、拘束が分かった男性は北朝鮮が追放を決めたとするスギモト氏と名前が同じで、同一人物の可能性もある。映像製作の仕事に関わっている30代で、外国の旅行会社が企画したツアーに参加していたとみられる。

北朝鮮は過去にもスパイ容疑などで国内にいた日本人を拘束したことがある。拉致問題を巡って日朝関係が膠着している中、早期の日本人釈放に応じることで、日本との対話再開の余地を残す狙いもあるとみられる。非核化を巡る米朝間の交渉に進展が見られないため、事態の打開を図ろうとしていることも考えられる。

北朝鮮“日本人男性を国外追放に” 外務省 情報の確認急ぐ

NHK8月27日4時27分



北朝鮮国内で拘束されていた日本人男性について、北朝鮮の国営メディアが26日夜、「国外に追放することにした」と伝えたことを受け、外務省は情報の確認を急ぐとともに、できるだけ速く、この男性と連絡を取って、安全を確保したい考えです。

北朝鮮国内で拘束されていた日本人男性について、北朝鮮国営の朝鮮中央通信は26日夜、「観光客として訪問した日本人が、法律に違反する犯罪を犯したため、該当する機関に拘束されて取り調べを受けた」としたうえで、「人道主義の原則に基づいて国外に追放することにした」と伝えました。

外務省は、「犯罪」の具体的な内容や、実際に男性が出国する場合の時期や場所など、情報の確認を急ぐとともに、できるだけ速く、この男性と連絡を取って、安全を確保したい考えで、男性が無事に帰国できるよう中国などの関係国と調整を進めるものとみられます。

また、政府内には、男性の拘束が長引けば、北朝鮮側に、日朝間の交渉のカードとして使われかねないという懸念も出ていただけに、北朝鮮側の意図についても慎重に分析するものとみられます。

日本政府は、これまで、「事柄の性質上、答えることは控えたい」としてきましたが、政府関係者によりますと、今月に入って、男性が拘束されたという情報を把握し、北朝鮮に対し、水面下も含めさまざまなルートで早期の解放を求めています。

”日本人は「杉本倫孝」氏”

朝鮮中央通信の日本語のサイトはこの日本人の名前を「杉本倫孝」「スギモト・トモユキ」氏だとしています。

日本政府の関係者などによりますと、北朝鮮は今月、西部の港湾都市ナンポ（南浦）で軍事施設を撮影していたとして日本人男性1人の身柄を拘束していて、拘束を解かれることになった日本人はこの男性とみられます。

北朝鮮は、男性を拘束した詳しい経緯やいつ国外に出国させるのかなどは明らかにしていません。

北朝鮮に2年拘束「毎日9時間尋問、自殺も考えた」

朝日新聞デジタル聞き手・鬼原民幸 2018年8月27日02時05分

北朝鮮西部の南浦（ナムポ）で今月、30代の日本人男性が拘束された。邦人保護を担う外務省は北朝鮮との交渉を一切明らかにしていない。かつて2年余り北朝鮮当局に

拘束された杉嶋岑（たかし）氏（79）が、朝日新聞のインタビューに応じて当時の状況を語った。



インタビューに応じる杉嶋岑氏＝2

3日、東京都内



——北朝鮮に拘束された経緯は。

「1999年12月、よど号ハイジャック犯を追悼するため、6人で北京から北朝鮮に入った。帰国当日、空港に向かうはずの車が突如、平壤市内のホテルに向かい、同乗していた監視員に一室に連れ込まれた」

——当局側から拘束理由の説明はありましたか。

「取調官から『スパイ容疑』と言われた。カメラや財布を没収され、3カ月もの間、1日約9時間の尋問が続いた。食事は3食出ていたが、自殺を考えたこともあった」

「尋問では日本政府のスパイだと認めるよう強要された。内閣情報調査室や公安調査庁との関係を調べているようで、取調官は私が過去に政府側に提供した北朝鮮の情報や写真を全部知っていた」

——政府にどのような情報を提供していたのですか。

「私は5回訪朝経験があり、政府から頼まれて撮影した写真を提供したり情報を説明したりした。ただ、拘束時のツアーは監視が厳しく、写真もほとんど撮っていなかった。『現行犯』ではなく、私の訪朝を待っていたのだろう」

——北朝鮮の目的は何だと思いますか。

「当時は日朝国交正常化交渉が再開される数カ月前。北朝鮮は対日外交を有利に進めるためにカードを欲していたはずだ。私の釈放と引き換えに、日本から外交上の譲歩を引き出せると考えたのだろう」（聞き手・鬼原民幸）

◇

すぎしま・たかし 静岡県生まれ。日本経済新聞記者時

代に取材のため初めて訪朝。記者を辞めた半年後の1999年12月、5回目の訪朝で当局に拘束される。平壤市内のホテルや団地の一室など6カ所を転々としながら取り調べを受けた。

2002年2月に釈放され帰国。11年3月、拘束時の体験をつづった「北朝鮮抑留記 わが闘争二年二カ月 1999年12月～2002年2月」（草思社）を出版。拘束の状況や北朝鮮の生活事情、当局とのやりとりなどをメディアを通じて発信している。日本政府は杉嶋氏が釈放されるまでの経緯や交渉過程を明らかにしていない。

北、軍事パレード準備か...軍用車両や兵士が隊列

読売新聞 2018年08月26日 09時27分

【ワシントン＝大木聖馬】米国の北朝鮮問題研究グループ

ピョンヤン

「38ノース」は24日、北朝鮮の首都平壤市内を撮影した衛星写真を公開し、北朝鮮の建国70年にあたる9月9日に合わせ、市内で軍事パレードの準備とみられる動きが確認されたと明らかにした。2月の朝鮮人民軍創建70年に合わせて平壤で行われたパレードに比べ、大規模となる可能性があるという。

同グループが22日に撮影された衛星写真を分析したところ、パレードの訓練施設内の道路で、戦車や短距離弾道ミサイルの「スカッド」を運搬する移動式発射台とみられる車両など約120台の軍用車両が隊列を組んでいる様子が確認された。付近の路上では12のグループに分かれた兵士らが隊列を組み、駐車場には訓練兵らを輸送したとみられる約500台の車両が確認された。

南北離散家族、進む高齢化＝金剛山での再会事業終了



26日、北朝鮮南東部・金剛山で、バスに乗った北朝鮮の肉親に別れを告げる韓国の家族（AFP時事）

【ソウル時事】朝鮮戦争（1950～53年）などで生き別れになった韓国と北朝鮮の離散家族の再会事業が26日、終了した。4月の南北首脳会談をきっかけに、2015年10月以来約2年10カ月ぶりに行われた再会事業では、離散家族の高齢化が改めて浮き彫りになった。韓国は事業を定例化したい考えで、9月に予定される今年3回目の南北首脳会談の議題になりそうだ。

共同取材団などによると、20日に始まった再会事業には、韓国と北朝鮮で選ばれた計160人超の離散家族が参

加。北朝鮮南東部・金剛山のホテルなどで、離れ離れに暮らしてきた親子や兄弟姉妹らが再会を果たした。

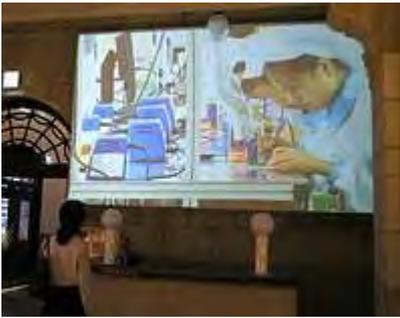
目立ったのは、高齢化だ。離散家族の中心は80～90代で、100歳を超える参加者もいた。健康上の問題を理由に、開催直前に金剛山行きを断念する人も出た。韓国から参加した女性（87）は体調を崩し、面会日程を中止して韓国へ戻った。

韓国の文在寅大統領も高齢化を懸念。20日に大統領府で開かれた会議では、「本当に時間がない。（離散家族が）家族の生死すら知らずに生涯を終えるのは南北の政府にとって恥ずかしいことだ」と述べ、事業の定例化や故郷訪問の実現、生死確認などに力を尽くすと強調した。

大韓赤十字社の朴庚緒会長は25日、韓国メディアに対し、年内の再会事業の追加開催を北朝鮮側と協議していることを明らかにした。ただ、開催は北朝鮮をめぐる政治情勢に左右されることも多い。9月の文氏と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長との会談で、方向性が決まるとみられる。

（時事通信 2018/08/26-18:00）

再開へいら立ちと期待＝南北協力の象徴、開城工団



ソウル駅で開催中の開城工業団地に関する展覧会＝24日、ソウル

【ソウル時事】4月の南北首脳会談、6月の米朝首脳会談で一気に融和ムードが高まった北朝鮮情勢。しかしその後、非核化と朝鮮戦争終戦宣言をめぐる行き詰まりを見せた。南北経済協力の象徴と言われながら2016年2月に操業を中止した開城工業団地（工団）の韓国進出企業は、再開に慎重な米国や韓国政府にいら立ちつつも、9月の南北首脳会談や2回目の米朝首脳会談の可能性に再び期待を膨らませている。



開城工団企業協会の申漢竜会長＝23日、ソウル

北朝鮮の核・長距離弾道ミサイル実験を受け、当時の朴槿恵政権は開城工団の操業を中止。進出企業でつくる開城工団企業協会の申漢竜会長によると、進出企業124社の損失は約1兆ウォン（約1000億円）に上った。韓国国内や中国、東南アジアに工場を移転した企業もあるが、いずれも中小企業。申氏は「非常に厳しい状況だ。今も（移転先で）生産を続けているのは60%程度で、40%は活動できていない」と話す。

それでも物流、労働コストが安く、言語が同じで手先が器用な北朝鮮労働者を雇用できる開城工団は依然として魅力的だ。

文在寅大統領は8月15日の演説で「経済共同体の実現」を提唱し南北経済協力に意欲を示しつつ、開城工団再開への直接の言及を避けた。「文政権は再開への確固たる意志がある」（関係者）ものの、非核化への具体的な進展が見られない中で、米国が否定的なためだ。開城工業地区管理委員会の金鎮香委員長は「国務省が反対している」と話す。制裁を考慮し、労働者への報酬を現金でなく現物支給にする案もあるが、米国は冷淡だという。

現地に残した設備の状況を確認するため、進出企業は過去6回、最近では今年7月に政府に訪朝を申請したが、「留保」。当局者は「認めれば、国際社会に近く再開という誤ったシグナルを送りかねない」と説明したという。

進出企業約80社は22日、緊急総会を開催した。「もう耐えられない。清算手続きに入ろう」という声も出たが、「国際情勢の雰囲気は悪くない。年末まで見守ろう」との結論に落ち着いたという。申氏は「政府が米国に注文を付けるべきだ。かねて開城工団に米国は好意的でなかったが、政府が説得した経緯がある」と不満を隠さない。



開城工業地区管理委員会の金鎮香委員長＝22日、ソウル

また、国内世論の動向も再開へのカギとなる。金氏は「平和定着、信頼構築が開城工団の一次的な目的であり、経済協力はその手段だ」と意義を強調するが、申氏は「開城工団に入る金が核・ミサイル開発に使われると考える人は多い。われわれを従北主義者、『アカ』と呼ぶ人もいる」と嘆く。韓国政府は7月からソウル駅で開城工団の歴史を振り返る展覧会を開催中。世論対策の一環だ。

それでも金氏は「年末には再開できるのではないかと楽観的だ。米朝交渉進展の可能性に加え、「米国が反対を続ければ、韓国国内で反米感情が爆発しかねない。それを国

務省は受け止められるのか」と指摘した。申氏も「9月の南北首脳会談では開城工団再開が議題になるのではないかと期待している。(時事通信 2018/08/26-17:33)

「国民の命守るのが使命」 大飯原発差し止め元裁判長
共同通信 2018/8/26 18:22



インタビューに答える福井地裁元裁判長の樋口英明氏

2014年に福井地裁で関西電力大飯原発3、4号機(福井県)の再稼働を認めない判決を出した樋口英明元裁判長(66)が26日までに共同通信のインタビューに応じ、「国民の命と生活を守るのが裁判所の使命だ。東京電力福島第1原発事故で、どういった場合に過酷事故になるかははっきりしたのだから、それに従って考えればいい」と判決に至った経緯を語った。

樋口氏は「『日本では珍しくない強さの地震が原発にも来る可能性はあるのではないかと』という具体的危険の話をしている。福島のような過酷事故が起きる具体的危険があったら、止めなくてどうするのか」と指摘した。

住民1万7000人が訓練＝自衛隊艦艇、ヘリも投入＝大飯、高浜原発事故想定



政府の原子力総合防災訓練で、海上自衛隊の掃海母艦「ぶんご」にヘリコプターで搬送された負傷者役の住民(奥右端)＝26日午前、福井県敦賀市沖

関西電力の大飯原発(福井県おおい町)と高浜原発(同県高浜町)の同時事故を想定した政府の原子力総合防災訓練が26日、前日に続いて行われた。内閣府によると、2日間で福井、京都、滋賀各府県の住民計約1万7000人が参加。自家用車などによる避難訓練や屋内退避を体験した。

訓練では、地震により医療機関が使えなくなる事態も考慮。敦賀港(福井県敦賀市)の沖合約5キロに海上自衛隊の掃海母艦「ぶんご」(全長141メートル)を停泊させ、

県の災害派遣医療チーム(DMAT)を向かわせた。負傷者役の住民らを乗せたヘリコプターがぶんごに到着すると、治療の優先順位を付けるトリアージを行い、重傷者には応急処置を施した。



政府の原子力総合防災訓練で、避難車両の除染作業に当たる陸自隊員＝26日午後、福井県敦賀市(同県提供)

高浜町音海では、避難経路となる県道が土砂崩れで通行不能になったと想定。住民ら30人は陸上自衛隊の大型ヘリCH47Jと海自の多用途支援艦「ひうち」で県外に向かった。

避難所となった兵庫県川西市の川西北小学校には正午すぎ、原発5キロ圏のおおい町大島の住民59人を乗せたバスが到着した。市職員らが住民の誘導や受け付け、健康状況のチェックなどの対応を確認した。

息子2人と参加した会社員下西康夫さん(50)は「これまではどう動いていいのかわからなかったが、行き方や避難場所を確認できて安心した。帰ったら家族で話し合いたい」と振り返った。(時事通信 2018/08/26-20:51)